

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年8月5日(2024.8.5)

【国際公開番号】WO2022/028976

【公表番号】特表2023-536932(P2023-536932A)

【公表日】令和5年8月30日(2023.8.30)

【年通号数】公開公報(特許)2023-163

【出願番号】特願2023-507673(P2023-507673)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/00(2006.01)

A 6 1 K 8/49(2006.01)

C 0 7 D 401/04(2006.01)

A 6 1 K 8/365(2006.01)

A 6 1 K 8/37(2006.01)

A 6 1 K 8/34(2006.01)

A 6 1 Q 13/00(2006.01)

A 6 1 Q 11/00(2006.01)

C 0 7 D 317/20(2006.01)

A 2 3 L 27/00(2016.01)

A 2 3 L 27/20(2016.01)

【F I】

C 0 9 K 3/00 B

A 6 1 K 8/49

C 0 7 D 401/04

A 6 1 K 8/365

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/34

A 6 1 Q 13/00 1 0 0

A 6 1 Q 13/00 1 0 1

A 6 1 Q 11/00

C 0 7 D 317/20

A 2 3 L 27/00 C

A 2 3 L 27/20 G

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月25日(2024.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組成物であって、以下：

a) 式(I)

10

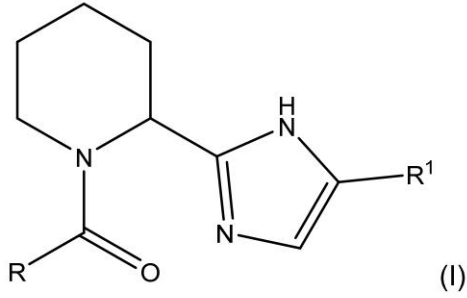
20

30

40

50

## 【化 1】



10

式中、

R は、1 の S 原子を任意に含む、C<sub>3</sub> ~ C<sub>7</sub> の分枝状アルキルまたはアルケニルであり、および

R<sup>1</sup> は、CH<sub>3</sub>、F および Cl からなる群から独立して選択される 1 または 2 または 3 の置換基によって任意に置換され；および Et、ビニル、CN、NO<sub>2</sub>、メトキシおよび CF<sub>3</sub> からなる群から選択される 1 のさらなる置換基によって任意に置換される、フェニルである、

で表される化合物；ならびに

b) 乳酸ブチル、エタノール、乳酸エチル、イソプロピルアルコール、イソプロピリデングリセロール、および乳酸、またはそれらの混合物からなる群から選択される少なくとも 1 の溶媒、

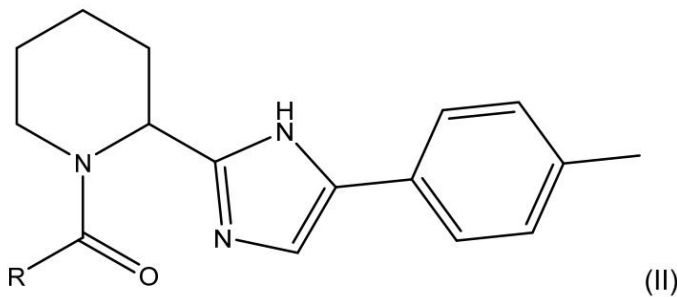
20

を含む、前記組成物。

## 【請求項 2】

式 (I) で表される化合物が、式 (II)

## 【化 2】



30

式中、R は、1 の S 原子を任意に含む、C<sub>3</sub> ~ C<sub>7</sub> の分枝状アルキルまたはアルケニルである、

によって示される、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 3】

式 (I) で表される冷却化合物が、2 - メチル - 1 - ( 2 - ( 5 - ( p - トリル ) - 1 H - イミダゾール - 2 - イル ) ピペリジン - 1 - イル ) ブタン - 1 - オン、2 - ( メチルチオ ) - 1 - ( 2 - ( 5 - ( p - トリル ) - 1 H - イミダゾール - 2 - イル ) ピペリジン - 1 - イル ) プロパン - 1 - オン、2 - メチル - 2 - ( メチルチオ ) - 1 - ( 2 - ( 5 - ( p - トリル ) - 1 H - イミダゾール - 2 - イル ) ピペリジン - 1 - イル ) プロパン - 1 - オン、または 2, 2 - ジメチル - 1 - ( 2 - ( 5 - ( p - トリル ) - 1 H - イミダゾール - 2 - イル ) ピペリジン - 1 - イル ) ブタ - 3 - エン - 1 - オン、またはそれらの混合物である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

40

## 【請求項 4】

溶媒 ( b ) が、乳酸である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

## 【請求項 5】

50

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項において定義されるとおりの組成物を含み、フレーバーおよびフレグランスからなる群から選択される少なくとも 1 の活性剤をさらに含み、ならびに任意に甘味剤を含む、フレグランス配合物またはフレーバー配合物。

【請求項 6】

製品ベースおよび冷却効果を提供する割合の請求項 1 に記載の組成物、または請求項 5 に記載の配合物を含む、フレグランス付製品またはフレーバー付製品。

【請求項 7】

請求項 1 において定義されるとおりの少なくとも 1 の冷却化合物 ( a ) をフレグランス付製品またはフレーバー付製品に組み込む方法であって、 ( a ) 少なくとも 1 の式 ( I ) で表される冷却化合物を乳酸ブチル、エタノール、乳酸エチル、イソプロピルアルコール、イソプロピリデングリセロール、および乳酸、またはそれらの混合物から選択される少なくとも 1 の溶媒とブレンドすること、ならびにその結果得られる組成物の製品への添加を含む、前記方法。

10

【請求項 8】

皮膚または粘膜に対する冷却感覚を製品に提供する方法であって、冷却効果を提供する割合の請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物の製品ベースへの添加を含む、前記方法。

20

30

40

50